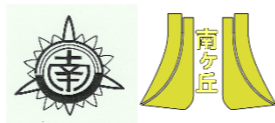




合志中学校区小中学校グランドデザイン

“合志中学力向上プロジェクト”を柱とした小中一貫教育の実現を目指して



教 育 標

郷土に誇りを持ち、未来を拓く
心豊かな子どもの育成

共通研究テーマ

「主体的・対話的で深い学び」のある授業改善を目指して

就学前

前期《小1・2・3・4年》

中期《小5・6・中1年》

後期《中2・3年》

“出会い”自分さがし・夢さがし

“つながる”夢に向かって高め合い

“自立”夢の実現

*自分の荷物をかたづけする。
*自分の使ったところをそとにする。

- *毎朝、自分で起き、朝食を食べる。
- *毎日家庭学習を10分×該当学年+10分する。
- *宿題を必ずする。

毎朝自分で起き、朝食を食べ、毎日家庭学習をする子どもを育てます。



- *毎朝、自分で起き、朝食を食べる。
- *毎日家庭学習を10分×該当学年+10分する。
- *宿題を必ずする。
- *自分に必要な学習（内容と量）を考え、計画的に自学をする。

Myプロジェクト
自分でやります

- *登校40分前には自分で起床する。
- *朝食を必ず食べる。（摂食率100%）
- *計画的に進んで学習する習慣を。
- *自己の課題に応じた自学ができる。

Homeプロジェクト
家族みんなでやります

- *家族みんなで挨拶をする。
- *ノーメディアデー・ノースマホデーの実践
- *学校からのお便りを会話の中心に。
- *家事の分業をする。
- *家族で地域の活動にも参加する。

Schoolプロジェクト
先生も頑張ります

- *「授業を『KOSHI』体!」「し合い・しない学習」を徹底します。
- *「志を合わせて」の徹底（無言清掃・無言入退場・座礼）。
- *連携した指導体制を築き、機能的な組織で日常指導にあたる。
- *自主学习（家庭学習）を支援する。
- *常に授業を検証し、授業の工夫・改善に組織で取り組む。

Communityプロジェクト
地域の子どもは地域で育てる

- (地域では) ※前期・中期・後期共通
- *児童生徒の登下校時の安全確保に協力します。
- *地域住民に学校行事への参加を呼びかけます。

- *学校との情報交換の場を設定します。
- *地域活動や行事を通じた児童生徒との交流の場をつくれます。

幼保小中で連携して、「育ちのものさし」(別紙)を基盤とした15年間の育ちを支援します。

- *相手を見て笑顔であいさつができる。
- *学校であった事を家族で話す。
- *お手伝いを1つ決めて毎日頑張る。

互いに挨拶をする家庭・家事の分業(手伝い)をし合う家庭・会話のある家庭になるよう支援します。

- *学習規律を徹底する。
- *学習意欲を喚起し、見通しをもたせる。
- *授業内容と宿題を関連させ、家庭学習の習慣化を図る。
- *校内研究での学びを授業に生かす。

- *自分から挨拶ができるようになる。
- *家族の時間を作り、接続詞の多い会話をする。
- *自分でできる家事に挑戦する。
- *テレビを観る時間を家族できめて取り組む。

「授業を『KOSHI』体!」、 「し合い・しない学習」を徹底します。「志を合わせて」指導を徹底します。

- *自分の力で問題を解決し、考えや意見を伝え合う授業づくりをする。
- *そらじや集会には、目的をもって参加させていく。
- *自分で計画的に自主学习ができるよう支援する。
- *研究授業や研究会に積極的に参加し、授業改善に生かしていく。

見とってはいよ(関心を持って)！言うてはいよ(情報共有)！来てはいよ(地域の学校づくり)！



【参考資料】

- 「授業を『KOSHI』体!」
K=教科書準備しっかりと!
O=大きな声であいさつ・発表!
S=失敗・間違い大切に!
H=人の目を見て話を聴こう!
I=1分前準備しっかりと!

- 「し合い学習」
「認め合い・ほめ合い・励まし合い・伸び合う」

- 「しない学習」
「はずれない・しゃべらない・たよらない・あきらめない」



目指す15歳の姿

- ◎「夢(目標)」に向かって主体的に取り組む子ども。
- ◎自ら気づき、考え、行動する子ども。
- ◎何事も「誠実」に受け止め、「誠実」に応える子ども。
- ◎相手の顔を見て、自ら進んで立ち止まって挨拶する子ども。
- ◎学校や地域に誇りを持って、学校(地域)に貢献する子ども。